



お金の話

今年の夏、新紙幣が発行されます。手持ちの新券を入れ替える方法を考えながらお金の使い方について振り返りました。

私自身、現金を使う機会がかなり減って、自身のお金の管理が難しくなってきました。現金で支払う場合は財布の中身を見て支払うので減っていることがわかります。でも、電子決済などを使うと数字の移動だけで財布の現金が減ることはありません。銀行に行かなくても振り込みや資金移動が簡単にできます。

子どもたちも現金を持たなくても買い物ができます。QR決済や電子マネーなど様々な方法で支払いが可能だからです。それはそれで便利です。お釣りを間違えることもないし複雑な計算も必要ありません。お店としても金銭の授受による間違いがありませんから、メリットのほうが多いのでしょうか。

ネットで簡単に買い物もできてしまいます。お店で現物を見て「ああでもない」「こうでもない」と悩むこともありません。「欲しい」と思ったら即、注文です。しかも自宅まで届けてくれます。

ものを買うということは「物資」だけでなく「サービス」も買うということです。「作る人」がいて「売る人」がいて「配達する人」がいる。他にもたくさんの人がかかわっていますが、それが見えにくくなっています。

サービスを買うための「お金」の価値をきちんと学ぶことはとても大切です。時代が変わってお金の流れが見えにくくなっても、対価を支払うことは「意味がある」と教えなければなりません。

高校では金融教育も始まりました。限りあるお金をどのように使うか学ぶことは働くことの意義やお金の価値を知るために必要不可欠です。

昔、祖母に連れられ、握りしめたお金を「貯金」していた自分に恥じない生き方をしなければならないと日々猛省しています。

校長 曾我部 大地

小学校親善球技大会 (2月7日)

本校で行われた親善球技大会に、6年2組の児童が参加し、一生懸命プレーをしました。結果は、1対1で両校優勝！開会式や閉会式、応援の態度もすばしかったです。

校内代表決定戦、教職員とのサッカー大会、そして、この大会を通して、

クラスの団結力を高めたり、泉川小学校の6年生と交流を深めたりと、勝敗以上の大切なものを得ることができたのではないかと思います。





教育目標 「豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」
校 訓 「未来をひらこう」
児 童 像 「考える子」「やさしい子」「がんばる子」
＜金栄小学校HP <http://kinei-e.esnet.ed.jp>＞

なかま集会 (2月9日)

今回のなかま集会のねらいは、人権に関するクイズについて話し合うことを通して、様々な意見に触れ、自分や友達を大切にしようとする態度を育てることです。ふれあい委員会の劇やクイズを基に、縦割り班で意見を交流しました。全校合唱「ビリーブ」は、班のみんなで手をつないで歌いました。優しい温かい空気が体育館全体を包みこむ、とてもすてきな集会になりました。



＜ な か ま 集 会 の 感 想 ＞

- 人をいじめたり、きずつけたりしたらいけないとおもいました。いろいろな人とともだちになって、なかよくしたいです。(1年生)
- じんけんについてしれてよかったです。校長先生が「やさしさって自分だけが楽しい、うれしいじゃない。」っていていたので、友だちにこえかけをしていっしょにあそびたいです。やさしさいっぱい为学校にしたいです。(2年生)
- 人を決めつけたり、はんにんあつかいしたり、友だちがいやがる呼び方はしないようにしたいです。はんのみんなと手をつないで歌えて楽しかったし、うれしかったです。(3年生)
- 特に心にのこったことは、たてわりはんのみんなと人けんについて話し合ったり手をつないで歌ったりしたことです。話し合って「なるほど。」「たしかに。」と思うことができました。「やさしさ」という言葉の意味ももう1回考えていきたいなと思いました。(4年生)
- 自分の言葉、行動はちゃんと正しいのか、相手がいやがるようなことを言ったりしたりしていないのか、ちゃんと相手のことを考えてやさしくせっているのかなどと、相手がいやな気持ちにならないように気をつけたいです。(5年生)
- 私はなかま集会でみんなと協力し、意見を伝え合ったりできたと思いました。人権のことについて知らない子もいたので、わかりやすく話せたのでよかったです。みんなもっと仲が深まるようにしたいです。(6年生)